

# 27年度 予算案 総額323億円可決

=プレミアム商品券補助に1億1,000万円を追加=

## 3月定例会

第1回定例会が、3月4日から20日まで17日間の会期で開かれました。総額323億円となる平成27年度当初予算のほか、平成26年度各会計補正予算、条例改正等の議案や請願等について審議しました。また、一般質問では、7名が8項目について理事者の考えをたずねました。

平成27年度一般会計ほか5つの特別会計、水道、下水道会計の予算案と、予算に関連する議案15件を、定例会初日に設置した予算審査特別委員会（大野晴美委員長、大浦正志副委員長）に付託した。

予算審査特別委員会では5日間にわたり審査を行い、定例会最終日に原案どおり可決する旨の委員長報告があった。1名が賛成討論を行い、全会一致で可決した。このほか、平成26年度一般会計補正予算や条例改正など、全ての議案を原案どおり可決した。

総務文教常任委員会（大野晴美委員長）で継続審査となっていた陳情4件のうち、1件は全会一致で採択と決定した。3件は不採択とする旨の委員長報告があり、起立採決の結果、賛成多数で不採択と決定した。今定例会初日に付託された陳情1件は、全会一致で不採択と決定した。

経済建設常任委員会（宮村哲委員長）に付託された請願2件、民生常任委員会（佐藤和也委員長）で継続審査となっていた陳情2件については、委員長報告のとおり決定した。（関連記事8ページ）

意見書は、「農協関係法制度の見直しに関する要望意見書」ほか2件を原案どおり可決し、関係機関に送付した。

一般会計補正予算では、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して事業を実施するための関係費として、約1億4千万円を追加した。この交付金は、各自治体が地域の実情



思い思いの笑顔で入場（駒場小学校入学式）

定例会最終日には、新教育長の選任に同意した。

### 決まった主な内容

#### 国の交付金を活用 27年度に事業実施

一般会計補正予算では、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して事業を実施するための関係費として、約1億4千万円を追加した。この交付金は、各自治体が地域の実情

に合った事業を実施することができ、本町では、商工会が実施するプレミアム商品券事業への補助、農業後継者確保対策、子育て世帯応援商品券、公共施設への授乳室の設置などを27年度

第1回定例会初日の3月4日、寺山町長から町政執行方針、加藤教育委員長から教育行政推進の方針について説明がありました。

## 町政執行方針

日本社会が直面する少子高齢、人口減少社会といった時代の中であって、現在が本町の将来に大変重要な時期にあると考えている。これからも発展を続けていくためには、真に必要な事業を見極め、町民にしっかりと寄り添った施策を推進するとともに、人、もの、自然などのあらゆる資源を最大限活かし、特色を磨き、魅力を創造していくことが重要である。町の現状を的確に分析、認識しつつ、本年度策定する地方創生に係る総合戦略を第5期総合計画の後期計画としっかりリンクさせ、総合計画の目指す将来像の実現のための町政運営をしていかなければならない。

今後とも、町民の皆さんと情報を共有し、支え合い、協働で持続可能なまちづくりを目指して、全力で取り組む。

## 教育行政推進の方針

教育委員会制度の改革に伴い法律が改正され、新制度による教育委員長と教育長を一本化した新教育長を4月1日から配置する。首長との連携の下、これまで同様独立した執行機関としての責務を十分踏まえ、教育行政を推進していく。

教育は、日本の将来を担う人材を育てるための重要な基盤であり、本町の教育を充実・発展させていくために、家庭、幼保・学校、地域、行政等が一体となり、町民が教育に関心を持ってもらう機会として、おとふけ「教育を考える日」記念フェスタを引き続き開催する。



本年7月1日から、燃や

燃やさないごみ袋  
5リットルを追加

介護保険料率を改定するための条例案を可決した。27年度から29年度までの介護保険料は、基準月額で4850円となり、2・6%の増となる。

介護保険料を改定  
基準月額4850円

に繰り越して実施する。このほか、除雪費1億円などを追加。26年度の除雪費は総額3億5千万円。

第1回臨時会が1月29日

除雪費1億円を追加

第1回臨時会

3月31日付けで任期満了となる荒町利明教育長の後任として、次の方の選任に同意した。

教育長の選任に同意

さないごみの指定容器に、5リットル袋（1枚15円）を追加するための条例案を可決した。

第2回臨時会が、4月15

税条例を改正

第2回臨時会

西川友則前副町長の後任に、次の方の選任に同意した。

副町長の選任に同意

に開催され、除雪費1億円を追加する一般会計補正予算を可決した。

委員会と各常任委員会の委

改選後初となる第3回臨時会が、5月8日に開催された。

改選後初の議会  
議長、副議長を選出

第3回臨時会

一定の環境性能を有する軽自動車に対し、その環境性能に応じて税額を引き下げるほか、二輪車等の税額の引上げを延期するための町税条例の改正について可決した。

## 主な一般会計補正予算

プレミアム商品券補助金	1億1,043万円
除雪費(うち1億円は第1回臨時会補正分)	2億円
農業後継者確保対策事業関係費	1,550万円
子育て世帯応援商品券	1,390万円
公共施設内授乳室設置関係費	500万円

▽契約の金額  
7612万9200円

▽契約の相手方  
道東ハウス・猪子特定建設工事共同企業体

員長などを選出し、新しい議会の構成を決めた。(関連記事14～15ページ)

このほか、工事請負契約の締結について可決した。

◎東土幌へき地保育所改築建築主体工事